

作成日:2019年12月16日

出張報告

1. 訪問者： 佐野元彦（海洋大）
2. 訪問国・機関名： インドネシア 日本大使館およびディポネゴロ大学
3. 相手国対応責任者： **Disnira**（ディポネゴロ大学）
4. 訪問日程： 12月8日～12日
5. 活動内容：

12月8日 羽田ージャカルタ移動 ジャカルタ泊

12月9日 日本大使館を訪問し、ASEAN 体表部の高橋一等書記官と面会し、ASEAN への拠出資金である Japan-ASEAN Integration Fund (JAIF)の概要および後継課題を応募する場合の留意点などについて意見を伺った。具体的な話を伺うことができ、準備を進める上で、大変参考となった。

ジャカルターセマラン移動 セマラン泊

12月10日 先にディポネゴロ大学入りしていた東京大学・伊藤先生と東京海洋大学・鳥羽先生と合流し、ディポネゴロ大学のグループと貝類のフィールド調査を行った。帰路に市場を訪問した。



河口での貝類調査：底はシルト状の泥・手で底泥中から貝を探していく



採集した貝類



市場で取引される大量のミルクフィッシュ

12月11日 プロジェクトに関して Disrina 先生と論議した。また、本年度に1名日本に招聘する人を早めに決めて欲しいと要請した。この拠点体制を活かして次期後継課題を提案していきたい旨説明し、その場合の対象種についても現行と同様で良いか検討を依頼した。

セマランジャカルタから羽田へ帰路についた。(羽田着12日)



学部長と Disrina 先生と空港への途中で昼食：いろいろなミルクフィッシュの料理があり、フィリピンよりも多彩な食べ方で大変美味しかった。

6. 問題点、改善点、提案等:

特になし